

歴史講話・定例研究発表会のご案内

佐世保史談会会長 中島 眞澄

初秋の候、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

9月の歴史講話および定例研究発表会を下記の日程で開催いたします。

会員の皆様はじめ、市民の皆様のご来場をお待ちしております。

なお、コロナ感染によっては中止、あるいは会員を優先に人数制限をすることも
あるかと思いますが、その際はなにとぞご容赦をお願いいたします。

日 時 令和4年9月24日(土) 13:00~15:45
会 場 佐世保市立図書館 3階視聴覚室
(公共交通機関でお越しください)
主 催 佐世保史談会
参加費用 200円(資料代)

問合わせ先 廣田 昌一 氏 Tel 32-4464

(1) 歴史講話 13:05~13:45

話 題 フィールドワークのすすめ

講 師 中島 眞澄 (なかしま まさすみ) 史談会会長

(2) 研究発表 14:00~15:45 (質疑等含む)

主 題 佐世保市教委による早岐瀬戸遺跡
発掘調査の概要について

発表者 佐世保市教育委員会文化財課 主任主事
溝上 隼弘 (みぞかみ としひろ) 氏

平成24年から佐世保市教育委員会が早岐瀬戸遺跡の発掘調査を行っており、現在は報告書刊行に向けた整理作業を実施しております。

早岐瀬戸遺跡の発掘調査の成果として、当時の人々の生活の様子や大火の発生の痕跡、様々の物品が早岐津に流通していたことを裏付ける遺構や遺物が出土しています。

今回は発掘調査によって、わかってきた早岐瀬戸遺跡の状況について、出土遺物や出土遺構、文献史料等を交えて紹介していきます。



『何遊紀行』より
早岐瀬戸の目の図
東漸寺蔵

早岐瀬戸遺跡発掘調査の
土層堆積状況

